

ABSTRAK

Di dalam bahasa Jepang cukup banyak terdapat kata yang mengandung makna yang mirip atau sinonim. Sinonim sendiri merupakan salah satu permasalahan sulit yang dihadapi pembelajar asing dalam mempelajari bahasa Jepang. Ditambah dengan kenyataan masih minimnya literature yang dapat dijadikan acuan untuk memahami sinonim di negeri kita. Sinonim sendiri terdapat di semua kelas kata, baik kelas kata yang sejenis maupun yang tidak sejenis. Seperti yang kita temukan pada kumpulan kata *ooi*, *takusan* dan *ippai*. Ketiganya berasal dari kelas kata yang berbeda, *ooi* tergolong ke dalam kata sifat sementara *takusan* dan *ippai* termasuk ke dalam adverbial, namun ketika kita menerjemahkannya ke dalam bahasa Indonesia, ketiganya sama-sama memiliki makna banyak pada konteks tertentu. Akan tetapi belum diketahui dengan jelas persamaan dan perbedaan dari ketiga kata tersebut terutama dari segi penggunaan.

Metode penelitian yang digunakan adalah deskriptif, karena dapat menganalisis permasalahan aktual yang terjadi. Tujuan dari penelitian ini adalah untuk mengetahui persamaan dan perbedaan dari kata *ooi*, *takusan* dan *ippai* sebagai sinonim.

Prosedur yang dilakukan dalam penelitian ini adalah sebagai berikut. Pertama, dikumpulkan jitsuei baik dari kata *ooi*, *takusan* dan *ippai*, yang bersumber dari penelitian terdahulu, buku pelajaran bahasa Jepang, kamus, drama dan *anime* berbahasa Jepang dan internet. Lalu data dianalisis. Terakhir, berdasarkan hasil analisis data diambil kesimpulan.

Kesimpulan yang didapat dari penelitian adalah untuk menerangkan benda yang abstrak dan konkrit, benda yang secara kuantitas dapat dihitung dan tidak dihitung dan untuk kalimat yang bersifat objektif, kata *ooi*, *takusan* dan *ippai* dapat digunakan. Untuk benda yang tidak dapat dihitung yang tidak memiliki wujud dan kalimat yang bersifat subjektif hanya dapat menggunakan kata *takusan* dan *ippai*.

Kata kunci: *ooi*, *takusan*, *ippai*, sinonim

ABSTRACT

In Japanese language there are quite a lot of words which have similar meaning, also known as synonyms. Synonyms are one of the difficult problems encountered by foreign learners in learning the Japanese language. The lack of literatures that can be used as references in our country makes synonyms even more difficult to understand. Synonyms can be found in any part of speech, and the synonymous words may be the same or different part of speech, such as the words *ooi*, *takusan* and *ippai*. Those three words are different part of speech; *ooi* is an adjective, while *takusan* and *ippai* are adverbs. When translated to Bahasa Indonesia, the three words have various meanings in certain contexts, but the similarities and the differences of the words especially in terms of usage are still unclear.

The methodology used for this research is descriptive, because it can analyze the actual problems. The purpose of the research is to figure out the similarities and the differences of *ooi*, *takusan* and *ippai* as synonyms.

The procedures done for the research are as follow: First, jitsueri of the words *ooi*, *takusan* and *ippai* are collected from previous researches, Japanese language text books, Japanese dramas and animes and the internet. Then, data are being analyzed. Last, conclusions are drawn based on the data analysis.

The conclusions drawn from the research are: the words *ooi*, *takusan* and *ippai* can be used to explain both abstract and concrete nouns, countable and uncountable nouns, and for objective sentences; as for uncountable nouns which have no form, only the words *takusan* and *ippai* can be used.

Keywords: *ooi*, *takusan*, *ippai*, synonym

「多い」と「たくさん」と「いっぱい」類義語としての言葉分析

ミルハラトゥリサ デ。ア

0900743

要旨

日本語の中では、よく似ている意味を持っている言葉、つまり類義語という言葉が相当ある。類義語は外国学習者にとっては一つの難しい問題である。その上、類義語の文献もまだ少ないである。類義語は各の単語にある。同じ単語からでもあるし、別の単語もある。次のような三つの言葉の「多い」と「たくさん」と「いっぱい」である。この三つの言葉は、別の単語からであるが、インドネシア語に翻訳されていると、「banyak」という意味を持っている。だが、三つの言葉の相違点と類似点がまだ明らかされていない。

本研究ではデスクリタイプ法を用いる。なぜなら、デスクリタイプ法は現在の社会における問題を分析することができるからである。本研究の目的は類義語としての「多い」と「たくさん」と「いっぱい」の類似点と相違点を知る。

研究の方法は次のようである。まず「多い」と「たくさん」と「いっぱい」の実例を収集する。その実例は、先行研究、辞書、日本語のドラマ、インターネットなどから収集する。そしてデータをぶんせきする。最後は分析の結果に基づいて結論をまとめる。

この研究した結論は具体的・抽象的なものや数えられる・数えられない物事や客観的価値のような場合、「多い」と「たくさん」と「いっぱい」は使えるが、数えられない物事として存在しない場合や主観的価値の場合で「多い」は使えない。

キーワード：多い、たくさん、いっぱい、類義語

Mirharatulisa Dyah Amoendria, 2013

Analisis Kata OOT Takusan Dan IPPAI Sebagai Sinonim Dalam Kalimat Bahasa Jepang
Universitas Pendidikan Indonesia | repository.upi.edu | perpustakaan.upi.edu

A. はじめに

インドネシアでの日本語の開発が増加しているが、インドネシア学習者の日本語能力に従えられない。それは日本語とインドネシア語の相違点がたくさんあるからである。

日本語の中では、よく似ている意味を持っている言葉、つまり類義語という言葉が相当ある。類義語は外国学習者にとっては一つの難しい問題である。その上、類義語の文献もまだ少ないである。

類義語は各の単語にある。同じ単語からでもあるし、別の単語もある。次のような三つの言葉の「多い」と「たくさん」と「いっぱい」である。この三つの言葉は、別の単語からであるが、インドネシア語に翻訳されていると、「banyak」という意味を持っている。だが、三つの言葉の相違点と類似点がまだ明らかされていない。そこで、本研究では、この三つの言葉の相違点と類似点を明らかにしたい。

B. 研究の問題

本研究の目的は次のようである。

1. 使用に見ると「多い」と「たくさん」と「いっぱい」の類似点は何であろうか。
2. 使用に見ると「多い」と「たくさん」と「いっぱい」の相違点は何であろうか。
3. 文に使用された場合に「多い」と「たくさん」と「いっぱい」は代用し合うことが、どのような文であろうか。

C. 研究の目的

本研究の目的は次のようである。

1. 使用に見ると「多い」と「たくさん」と「いっぱい」の類似点を知るためである。
2. 使用に見ると「多い」と「たくさん」と「いっぱい」の相違点を知るためである。
3. 文に「多い」と「たくさん」と「いっぱい」の変わり限りを知るためである。

D. 研究の方法

本研究ではデスクリティブ法を用いる。デスクリティブ法は現在の社会における問題を分析することができるからである。具体的な研究の方法は以下のとおりである。

1. データの収集
本研究について関係がある文献を収集する。そして「多い」と「たくさん」と「いっぱい」の実例を収集する。その実例は先行研究、辞典、日本のドラマとインターネットなどからデータを収集する。
2. データの分析
データを収集したあと、実例を分類する。それに文の構成において、分類した実例の意味だけでなく、使い方も分析する。ある言葉はほかの言葉に置き換えるかどうかの事も分析する。
3. 結論
分析の結果に基づき、「多い」と「たくさん」と「いっぱい」の三つ言葉の相違点と類似点に関する結果をまとめる。

E. 先行研究の結果

1. まさよし と かくこ (Effective Japanese Usage: 1994)

多い

- 1) 量・回数など、数量が大きいことです。ほかのものと比べてと
きの数量の大きさを表します。

例：レモンには、ビタミンCが多い。

たくさん

- 1) 数量が多いようすを表します。

例：私には友達がたくさんいる。

- 2) 今の量や程度で十分だ、これ以上は必要ないというとき使
います。まだ、そんなことはもういやだ、という拒絶の意味に
も使います。

例：もう君のぐちを聞かせるのは、たくさんだ。

いっぱい

- 1) 数量が多いようすを表します。「たくさん」とほぼ同じ使い
方をしますが、「いっぱい」は会話で使うことが多く、くだけた
感じですか。ですから時には子供っぽく感じられることもありま
す。また、「容量を十分に満たしている」あるいは「もうそれ
以上余裕がない」という意味も表します

例：新宿には、いつもいっぱい人がいる。

2. しばた と 山田 (類義語大辞典: 2002)

多い

- 1) 数量が比較されるもの、あるいは基準を超えている様子。

例：先月よりも給料が多い。

たくさん

Mirharatulisa Dyah Amoendria, 2013

Analisis Kata OOT Takusan Dan IPPAI Sebagai Sinonim Dalam Kalimat Bahasa Jepang
Universitas Pendidikan Indonesia | repository.upi.edu | perpustakaan.upi.edu

1) これ以上いらない意を表す言葉。

例：こんなつらい暮らしはもたくさんだ。

3. チアンゾンクイ (類義語使い分け辞典: 1998)

多い

1) 人や物事の数量・回数などが、一般的基準や比較の基準を上回る状態。

たくさん

1) ある範囲内にある物事を数えてみると、数量が絶対的に多い状態。

例：日本は比較的雨量の多い国で、特に梅雨のときは雨がたくさんふる。

いっぱい

1) 固体・液体・気体が容器に満ちている。無数の物事・最高の程度。「いっぱいの仕事・鳥がいっぱい」などの「いっぱい」は、客観的に無数ではなく、無数だと感じられる、つまりその時その場限りの、感覚的な有り余るほどの多さを表す。

例：いっぱいの仕事。

F. 分析の結果

(55) (多く / いっぱい / たくさん) のハリウッド俳優が日本でコマーシャルに出ています。 (<http://www.alc.co.jp/>)

(56) (多く / いっぱい / たくさん) のいいアイデアが入っている。
(<http://www.alc.co.jp/>)

(55) と (56) の実例には三つの言葉「多い」と「たくさん」と「いっぱい」が使える。二つの実例には具体的と抽象的の物事を説明する。それで、この二つの実例を見ると、「多い」と「たくさん」と「いっぱい」を説明された物事は数えられる物事だと分かる。

(58) 新潟は雪が(多いです / たくさん / いっぱい)ある。
(<http://www.alc.co.jp/>)

(70) お昼休みは日比谷公園で日光浴。寒くなる前にお日様(いっぱい / たくさん)浴びておこう！ (<http://www.alc.co.jp/>)

その上に実例には数えない物事を説明する。(58)の実例に「多い」が使えるけど、(70)の実例には「たくさん」と「いっぱい」しか使えない。(70)の実例には存在がないの数えられない物事からである。そういう場合には「多い」が使えない。

(72) 同音異義語は、英語にも(多い / たくさん / いっぱい)ある。
(<http://www.alc.co.jp/>)

(75) 入江君には、(いっぱい / たくさん) 可能性があるんだよね。(イタキスのドラマ)


(72)の実例は客観的の文である。だから、三つの言葉「多い」と「たくさん」と「いっぱい」が使える。しかし、(75)の実例は主観的の文からで、「多い」が使えない。「たくさん」と「いっぱい」が主観的の文が使えるけれども、実際には「たくさん」が客観

的の文によく見つけられ、「いっぱい」が主観的の文によく見つけられる。

G. 結論

分析の結果に基づいて、以下のようにまとめられる。

1. 「多い」と「たくさん」と「いっぱい」の類似点
 - a. 「Banyak」というインドネシア語で同じ意味を表すため使用する。
 - b. 具体的・抽象的な物事を説明する。
 - c. 数えられる・数えられない物事を説明する。
 - d. 三つの言葉は客観的の文を使用する。
2. 「多い」と「たくさん」と「いっぱい」の相違点
 - a. 存在しないの数えられない物事は「多い」が使えない。
 - b. 抽象的の文に「たくさん」と「いっぱい」しか使えない。
 - c. 実際には「たくさん」が客観的の文によく見つけられ、「いっぱい」が抽象的の文によく見つけられる。



参考文献

Masayoshi dan Kakuko, Shoji. 1994. *Effective Japanese Usage Guide*. Tokyo: Kondasha International.

Shibata dan Yamada. 2002. *Ruigigo Daijiten*.

Sutedi, Dedi. 2011. *Penelitian Pendidikan dan Bahasa Jepang*. Bandung: Humaniora.

Zhongkui, Tian dkk. 1998. *Ruigigo Tsukai Wake Jiten*. Kenkyuusha

<http://alc.co.jp/>